

1 部の使命

議会事務局は、議会と長の適切な緊張関係を背景とした地方自治における二元代表制のもと、市民にとって最良・最適な意思決定が行われるよう、議会の政策立案や監視等における助言スタッフとして機能することにより、持続可能なやぶぐらし幸せ社会の実現に貢献します。

2 部の経営方針

【市民】市民から信頼され、市民に開かれた議会を実現するための議会改革を推進

【経営】議会の権能を適切に発揮させるため、議会内外に向けた調整力を向上

【政策】議会における政策立案能力を確立・強化

【協働】議会モニター制度、議会報告会及び議会だよりを活用し広報・広聴機能を強化

【人材】OJTにより議会運営に関する職員の専門的能力を向上

【改善】業務改善ミーティングの開催

3 部の経営体制

【所管課及び人員】 議会事務局と監査委員事務局を兼務 人員総数5人

【予算】 議会費114,071千円、監査委員費1,196千円 合計115,267千円

4 重要経営課題

【政策】政策立案できる議会を目指す

【情報】開かれた議会を実践する情報発信の強化

【市民】市民起点の議会改革を推進する

【人材】職員間で事務の共有化を図る

【経営】市民起点による議会経営の実践

5 部の重要政策の取組内容

柱③公共

【新規】①議会改革推進特別委員会による議会改革の推進

【改良】②タブレット更新に関する調査研究

柱②地域

【拡大】①議会政策形成セミナーの実施

②政務活動費の拡充による議員の調査研究活動の質的改善

③議会の機能強化を目的とした先進地視察の実施

柱①市民

【新規】①市民参加ができる公開研修会の開催

【継続】②委員会の動画配信に関する調査研究

6 部の経営目標

【柱③公共】

- ・市の最高意思決定機関である議会の補助機関として適切な議事運営 定例会：4回、臨時会：随時、各委員会：90日

【柱②地域】

- ・3市合同議員研修の開催 1回
- ・議会の機能強化を目的とした先進地視察の実施 2回
- ・議会改革に向けた研修会の実施 1回

【柱①市民】

- ・ワークスタイルの変革による働き方改革の推進（デジタルの活用によるワークライフバランスの推進） 年休取得率の向上 平均12日／人以上

7 前年度の経営目標及び実績

【柱③公共】

- ・改選後の議会が円滑に始動し適切に機能することで切れ目なく議会の責務を果たせるよう支援する 定例会：4回、臨時会：1回、各委員会：80回、全員協議会：31日

【柱②地域】

- ・議会機能を強化させる研修会の実施：議員研修会：1回
- ・議会の政策提言を促す議会図書室の充実 議会図書室の施設整備及び図書室設置要綱の制定
- ・播但市議会議長会の主管と地域自治の推進 総会3回、正副議長視察研修1回、事務局職員研修会1回、事務局視察研修会1回

【柱①市民】

- ・ワークスタイルの変革による働き方改革の推進（デジタルの活用によるワークライフバランスの推進） 年休取得平均13.3日／人